



ふるおか市立図書館おはなしのシャワー

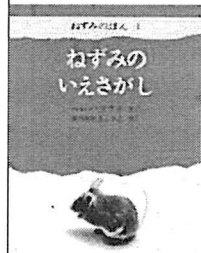
# ねずみのほん



『ねずみくんのチョコッキ』  
なかえよしを ポプラ社  
おかあさんがねずみくんに  
あんでくれたチョコッキ。  
「ちょっときせてよ」あれ？  
「ちよっときせてよ」あれ？  
どんどんのびて…



『ねずみのいえさがし』  
ヘレン・スピア 童話屋  
さむすぎない、あつすぎない、  
ひろすぎない、ねずみのいえさがし。  
写真絵本です。



『フレデリック』  
レオ・レオニ 好学社  
冬に備え、食べ物を集める仲間たち。  
フレデリックは何もせず、ぼーとしています。  
ちよっと風変わりなねずみのおはなし。



みのおはなし。

『番ねずみのヤカちゃん』  
R・ウィルバー 福音館書店  
ある家に住む母さんねずみと4匹の子ねずみ。  
すえっこねずみは「やかましやのヤカちゃん」と呼ばれていました。

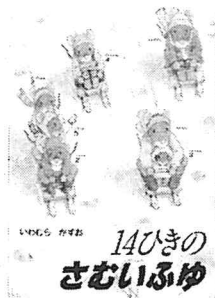


『ねずみのすもう』  
大川悦男/梅田俊作 ポプラ社  
二ひきのねずみが、きりかぶのどひょうででんかしょでんかしょとすもうをとっていました。それを  
見ていたきこりのじいさまは…。



見ていたきこりのじいさまは…。

『14ひきのさむいふゆ』  
いわむらかずお 童心社  
あたたかいへやで、おばあちゃんは  
おまんじゅう作り。おじいちゃんは、そり作り。  
雪がやんだらそりあそび。寒い冬でも14ひきは元気いっぱい！



2020 ねん1がつ あけましておめでとうございます。今年もたくさん本をよんでね

月	火	水	木	金	土	日
		1 年始	2 休	3 業	4 おはどん	5
6 閉館	7	8 おはすい	9	10	11 おはどん	12 おはちび
13	14 閉館	15 おはすい	16	17	18 おはどん	19
20 閉館	21	22 おはちび おはすい	23	24	25 おはどん	26
27 閉館	28	29 おはすい	30	31		

休館日:毎週月曜日(祝祭日が重なった場合は翌日)  
開館時間:平日 9:30~18:00 閉館時間が変更になりました。  
休日 9:30~17:00

おはなし会のあんない

**おはどん**

毎週土よう日  
ごご3じ~3じ30ぶん  
第5土よう日はすがたりおはなし会

**おはちび**

第4水よう日  
第2日よう日  
ごぜん11じ~11じ30ぶん  
☆0~1さい向けのおはなし会  
♪てあそび、わらべうたなど

**おはすい**

毎週水よう日  
ごご4じ~4じ30ぶん

1かいのおはなしコーナーで  
行います。出入り自由。  
スタンプカードもあります。

館長の



# こども室の本棚から



あけまして  
おめでとうございます  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「子年」です。子どもの子かいて「ねずみどし」。繁栄が感じられる年になるといいですね。まして、今年がオリンピックイヤーです。すばらしい一年になりますように。

さて、今月の紹介絵本ですが、冬に紹介したい私の好きな一冊にします。『ゆうかなアイリーン』(ウィリアムズ・スタング作 おがわえつこ訳 セーラー出版 1988年刊)です。主人公のアイリーンが大好きなのです。30年前の本ですが、おはなしの舞台はもっと古くて、馬車が交通機関で、ドレスを着てパーティーを開くころのお話です。

お屋敷の奥様に頼まれたドレスが出来上がったのですが、お母さんは風邪をひいてしまっ  
て、今夜のパーティーまでに届けることができません。そこでアイリーンが「私が届けてあげ



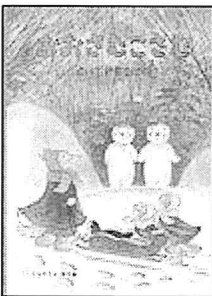
「ゆうかなアイリーン」  
ウィリアム・スタング 作  
おがわえつこ 訳  
セーラー出版  
1988年

る」といいますが、お屋敷は遠いし、洋服箱は重いし、おまけに雪が降り出しています。でも、アイリーンは、お母さんにおいしいお茶をつくり、風邪薬を飲ませて、コートを着て、歩いて出かけていきます。

ここからのアイリーンの奮闘に感服。猛吹雪の中、後ろ向きに背中で風を押して進んでいきます。風は「ゴオ ホーム」となっています。とうとう箱が風に飛ばされ、ドレスは箱から飛び出して飛んで行ってしまいました。

結末は、読んでいただくとして、出版当初から、主人公のゆうかなアイリーンが大好きで、冬にチャンスがあれば読んできました。だって、アイリーンの頑張りが本当の意味でわかるのは、猛吹雪の中を歩いたことのある子どもですから。もちろん大人もですけどね。

絵本の景色が、風の音も、灰色の空も、あっという間に暮れてしまう短い冬の日の夕方も、身を持って感じるができるここ鶴岡で、読んでみて欲しい一冊です。



「おおさわこさわ」  
こいでやすこ さく  
福音館書店  
2001年



「はたらきもののじよせつしゃ  
けいていー」  
ぼーじにあ・りー・ぼーとん  
ふんとえ  
いしいももこ やく  
福音館書店 1973年

## おはなしポケットメンバー おすすめ本



だいまい

ゆきうさぎのちえ

かいたひと

手島幸三郎 作・絵

しゅっぱんしゃ

(株) リブリオ出版

この作者は、

北海道の豊かで厳しい自然の中、懸命に生きぬく動物の姿を描いています。本作品は、母親を失った子うさぎが、たくましく成長していく姿を、季節の移り変わりの美しい情景ともに描いたものです。決して「かわいい」うさぎではありませんが「生きること」に直面しているきびしい目ざしきが印象に残る一冊です。

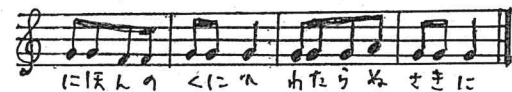
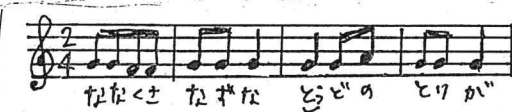
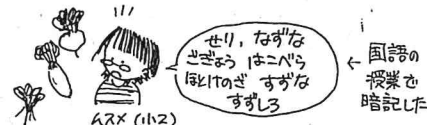
おはなしポケット た〜こ。

## 〜てあそび・わらべうた やってみよう〜

『七草 なずな』

はる <sup>なな草</sup> なな草  
春の七草で「七草がゆ」をつくらうたうら  
わらべうたです。正月七日にうたってみては?

♪ ななくさ なずな どうどのとりが  
日本 <sup>こくに</sup> の国へ わたらぬさきに



すきなふりつけでうたいましょう!

楽譜引用: 「いっしょにうたおう わらべうた  
0・1・2歳児クラス編」  
コダーイ美術教育研究所

「唐土の鳥」 = 中国からくる鳥、諸説あり。  
鳥遣いにちなんだものともいわれています。  
私は庄内の昔話「唐の大王鳥」を連想し  
から せいほうちやう しまいます...

